

会議開催概要

会議名	第4回 菊川市総合計画庁内策定委員会
日時	平成27年6月8日(月) 10:30~12:00
場所	菊川市役所 201.202 会議室
出席者	副市長、委員9名 事務局4名
議事	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委員長あいさつ 3 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 菊川市版総合戦略の素案の検討について 4 その他 5 閉会
議事要旨	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会宣言、資料確認。 <p>2 委員長あいさつ</p> <p>今回は総合戦略に掲げる施策について各部署からあげてもらい、担当課では人口ビジョン・総合戦略素案として整理し、その内容について提示していますので是非建設的なご意見お願いします。周辺の取り組みをみると、掛川市では2025年目途の人口増加、牧之原市は、IC周辺で28haの大規模開発を想定しています。本市では長いスパンに目を向け、人口減少に合わせた考え方を整理していきたいと考えます。職員ひとりひとり、末端に至るまで意識を一つにして進めていくことが大事でありますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 菊川市版総合戦略の素案の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より資料1-1~1-4の一括説明。 <p>(質疑)</p> <p>委員： 6月15日までという期限の中で、事業の実現性としては金目と人目から取捨選択が必要になりますが、どうバランスを取り考えればいいのですか。</p> <p>事務局： 金銭的、人件費的な裏付けは重要ですが、まずこの事業案の段階としては、そうした要素は外して考えていただきたいと思います。</p> <p>委員： 理想でよいということかでしょうか。</p> <p>事務局： その通りです。</p> <p>委員： 資料1-2、P3にある、Uターン転入者への定住補助など、他の課でも考え、より適切な担当課があるような事業も出てくると思いますが、まず自課のみで考えていいものでしょうか。</p>

事務局： その辺りのスタンスはこの場で議論して整理していきたいと思います。

委員： いずれにしても時間が短すぎます。例えばUターン事業ひとつとってもどのような事業にするか色々パターンがあり得るし、提案事業のチェックとしてはまだ、「思いつき」という感のある内容も見られるので、この期間で精査するのは厳しいのではないのでしょうか。

委員： 説明の中で、事業がない項目はいずれ「削除」とありましたが、やはり事業が無いから削除でなく、じっくり項目ごとに何をすべきなのか考えて行くべきではないのでしょうか。それから、素案に記載されている「人口ビジョン」の表記ですが、実数ベースで「36,094人」とするのか、こういった値は「丸めて」もいいのではないのでしょうか。

事務局： その辺りもこの場の議論でお願いしたいと考えています。

委員： 目標値とするなら丸めてもいいのではないのでしょうか。

委員： 「時間が無い」ところは事務局も承知していますが、今月末の審議会、その後もパブリックコメント、10月には案をまとめたスケジュールのご理解は頂きたいと思います。そのうえで検討期限の再協議は考えます。人口の数値は丸めてもいいと思います。ただし、36,100人か36,000人とするか意見をいただきたいと思います。

委員： 本来は、担当課で素案化作業を担うべきところでもありますが、先の時間的制約のなかでもう少し時間を取ることができるのでしょうか。

委員： 事業を検討するにも、まず、どういう事例（やり方）があるのかなど、調べているだけでも1週間はすぐ経ってしまいます。そういった面で担当課のサポートも必要だと思います。

委員： 大まかなスケジュールを確認したいです。

事務局： まず8月にはパブリックコメントにかけて、秋には成案化する必要がありますが、今度（6月30日）の審議会では、本日の委員会資料段階で開催することも考えられます。

委員： そうなると、この段階では事業が無い項目も削除せずに残しておくべきだと思います。更に何か、もっと大きな事業は考えられないのでしょうか。

委員： 資料1-2に出てきている事業はそれぞれの部署が提案してきていただいているものです。これについては多少時間が無くてもできると思います。資料1-4の検討期間が問題になっていますが、検討事項を絞るのか、期限を延長するのかわかりませんか。また、もう少し先を見た事業も検討していただきたいと思います。

事務局： 資料1-2については、このまま6月15日、職員提案部分（資料1-4）は少し時間を延ばし、審議会には事務局案を提示させていただきます。「更に大きな事業」については、今後5年間で交付金の活用が前提で、菊川市として、何を重点的に取り組んでいくのかにも関わります。（部長会等でも）どういう方向で行くのかの議論もお願いしたいと考えています。

委員： 目標とする内容に対し、実施する事業として例えば「・・支援体制の充実」くらいの項目があって、少々「うすい」ところがあるのではないのでしょうか。

事務局： 次期総合計画ができていれば、そこに位置づける重点プロジェクトといった内容があてはまると思います。

委員： 目標の内容をよく咀嚼^{そしやく}して、実際の「事業出し」に留意していただきたいと思います。

委員： 子育て支援の内容などは、菊川市の強みとしてもっと書き込んでいいのではないのでしょうか。

事務局： 既存事業としてPRしていきますが、今回の人口ビジョンの取り組みとしては、プラスアルファとして何か考えていく必要があると思います。

委員： 現状のプラスアルファについて書けばいいということでしょうか。

事務局： 既存事業のみでは交付金を適用できないところになると思いますが、「コンシェルジュ」も用意されているので確認してみたいと思います。

委員： 資料1-2、P1の教育力の強化について、子ども一人一台タブレット事業がありますが、これは修正させていただきます。資料1-4に掲載している「多子世帯への支援」関係は、現在、就学条件がありますので、その隙間を埋めようという提案ですが、そういった場合にも交付金対象になるのか確認していただきたいと思います。

事務局： 次回委員会7月7日の予定でいますので、6月30日までには延期分（資料1-4）の内容もお願いしたいと思います。

委員： 今回の内容について、審議会には「途中段階」という言い方にして、事業について

はもう少し検討しているという説明になるのでしょうか。

事務局： 人口ビジョンの目標値（丸め）としては、36,000人か36,100人とするかですが。

委員： 社人研推計値プラス5,000人増やすとすべきで良いのではないのでしょうか。

事務局： 審議会資料には社人研推計に対しプラス5,000人を目指すように記載します。

委員： 出生率「2.06」の意味合いも記載しておきたいと思いますが、2025年で1.86とほどういう設定なののでしょうか。

事務局： 現状から目標年の期間で1年当たりの値を求め、当該年数分足していった値です。資料には注記等を付したいと思います。

委員： 途中年を掲載する意味はなんのでしょうか。

事務局： 2025年は第2次総合計画の目標年次であります。人口ビジョンの期間には、こうした中間年を設定してよいことになっています。2025年で1.86と記載してありますが、2025年で1.86程度になっていないと、その後2035年2.06というのも厳しくなります。

委員： 総合戦略に掲載するのは2035年に合計特殊出生率2.06として、2025年時ははずしておくものとするればよいのではないのでしょうか。

事務局： 人口ビジョンの現状部分についての意見をお願いしたいと思います。

委員： 検討資料P14、公共施設の保有面積は妥当な数値でしょうか。

事務局： 資料は総務省の値になっていますが、財政課で公共施設の管理計画を策定しているので、今後整合させていきたいと思います。

委員： 女性の就業率について他都市比較は可能ですか。

事務局： 国勢調査で把握されているはずです。

委員： 全国、静岡県比較なども見てみたいと思います。

委員： 子育て支援策の状況などとの相関が分かりますか。

事務局： どのような要素で分析するか難しいかもしれませんが、都市比較等で見えてくるか

もしれません。

総合戦略に掲載する取り組みとの関係で現状を整理しています。またお気づきの点があれば事務局までお願いしたいと思います。

先ほど意見にあった、資料1-2、1-4の精査については、事務局も適宜支援していきます。

委員： 子育て支援の事業はどこから出てくるのでしょうか。

事務局： 平成23年度の「住みたくなるまちプロジェクト」で提案されている内容があります。今回提示していただいた期間で掲載が間に合わなかったような内容がもしあれば、6月30日までの中で是非追加して頂きたいと思います。

4 その他

SWOT分析（追加検討）について、議会、行政、市民の立場からそれぞれ検討いただいています。今後各意見をマッチングさせていきます、内容がまとまり次第、発信していく考えでいます。

5 閉会

・企画財政部長閉会の辞

以上